新バスシステム事業の改善に向けた取り組み状況

～ 持続可能な公共交通体系の構築に向けて ～

市民から寄せられた意見

- ■朝の通学時間帯に間に合わないバスか、早すぎるバスしかない。
- ■朝９時以前に、病院に接続するバスが少ない。
- ■沼垂地区を通るバスが減った。
- ■日中にも直通便を残してほしい。
- ■郊外線の最終便への乗換の接続を改善してほしい。
- ■沼垂四つ角～市役所。朝夕以外もダイレクトが１時間に１本はあるように。
- ■立ちっぱなしで待つのはつらいので、ベンチを置いてほしい。
- ■視覚に障害がある人にも、バスの行先が分かるように。

評価委員会からの意見

- ■中心市街地への集客について、春ダイヤ改正に合わせた前向きな対策が必要ではないか。
- ■長期的に需要を捌くための専用走行路の導入、連節バス８台への増車は必要。
- ■ゆとりを持ったダイヤ設定とし、確実な運行を定着させること。そのうえで徐々に見直し、効率化・速達性の向上を目指すことが望ましい。
- ■青山などの乗換拠点の環境改善が望まれる。

改善

冬のダイヤ改正

- ■高校の通学時間への対応。
  - ⇒小新線のダイヤを変更
  - ⇒有明線グリーン団地前行きを一部**内野営業所まで延伸**。
  - ⇒スポーツ公園線を**５便増便**。
  - ⇒(急行)大野･白根線のダイヤを変更し、**部活動後の帰宅時間に接続。**
- ■病院の通院時間への対応。
  - ⇒スポーツ公園線を**５便増便**。
  - ⇒信濃町線を一部**西部営業所まで延伸**。
- ■臨港町線の増便。
- ■萬代橋ラインの定時性確保。
  - ⇒萬代橋ラインの所要時分と郊外線の接続ダイヤの見直し。

改善

ハード整備による改善

- ■青山における待合所の整備（冬季限定）
- ■BRT 駅における点字案内の設置

改善

春のダイヤ改正の方向性

- ■日中の買い物、土日の通勤・通学への利便性強化。
  - ⇒平日昼間及び土日のダイレクト便追加を検討。
- ■帰宅時の郊外路線との乗り換え負担の軽減。
  - ⇒現行ダイレクト便があ　る路線における最終便等のダイレクト化を検討。
- ■沼垂･女池地区から古町への利便性向上
  - ⇒日中及び土休日における本町・古町へ向かうダイレクト便を検討。
  - ⇒空港松浜、河渡線のダイレクト便。
  - ⇒東中通～古町経由新潟駅行きの女池線、長潟線のダイレクト便。
- ■古町・本町への来訪者の利便性向上
  - ⇒日中及び土休日における本町･古町へ向かうダイレクト便を検討。
  - ⇒空港松浜、河渡線のダイレクト便。
  - ⇒東中通～古町経由新潟駅行きの女池線、長潟線のダイレクト便。
  - ⇒暫定運行中の萬代橋ライン快速便（連節バス）停車バス停に「本町」追加を検討

改善

～H31

段階的な整備・改善によるBRT第一期完成形へ